

おい 自然園

ヒラテテナガエビ

No.136

川の中流域から上流域にかけて石がゴロゴロし、割と流れが速いところに生息しています。

ザリガニの仲間では第一胸脚が一番大きく発達しているのに対して、テナガエビの仲間は第二胸脚のはさみが大きく発達しています。本種は、はさみが太く少し扁平していることから、その名がついていますが、ヤマトテナガエビとも呼ばれます。

川に潜ってみると、石の下で暮らしていることが分かります。夜になると、そこから這い出し、餌を探し回ります。

なお、雌の腹から孵化した幼生は、川を流れていき、汽水域や海で稚エビとなり、再び川を遡上してきます。



▶ヒラテテナガエビ 雄

おい自然園長 一寸木肇

【おい自然園 HP】



▲大井町の動植物や虫、石、自然観察会の結果などを掲載しています。

【自然NOWへの投稿】



▲町内の身近な自然情報をお待ちしています。
※撮影は横位置で